

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第8週（令和8年2月16日～令和8年2月22日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- 今年1例目となる麻しんの報告がありました。麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、空気感染、飛まつ感染、接触感染により感染します。感染すると、10～12日の潜伏期間を経て、発熱や咳、鼻水、目の充血などの風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。麻しんを疑う症状が現れた場合は、医療機関に電話で連絡し、指示に従って受診してください。その際に、症状出現日の10～12日前（感染したと推定される日）の行動（海外の流行地や人が多く集まる場所へ行ったか等）について、医療機関にお伝えください。また、医療機関の受診の際は、感染を拡大させないように公共交通機関の利用は控えてください。麻しんの感染力は極めて強いため、手洗い、マスクのみでは予防できません。予防にはワクチン接種が有効ですので、定期予防接種の対象年齢で未接種の方は早めの接種をご検討ください。

## ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	117	213	1,635
腸管出血性大腸菌感染症	1	6	30	225
レジオネラ症	3	10	28	235
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	16	29	221
後天性免疫不全症候群	2	8	12	109
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	5	12	69
侵襲性肺炎球菌感染症	3	24	65	433
梅毒	7	89	142	1,286
百日咳	5	66	132	1,422
麻しん	1	1	7	43

## ■ 定点把握疾患報告数

     : 警報

     : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	50	0.41	0.83	8,114	2.13
インフルエンザ	5,215	42.75	0.86	157,713	41.44
急性呼吸器感染症	10,866	89.07	0.93	353,864	93.17
RSウイルス感染症	51	0.73	1.06	1,362	0.59
咽頭結膜熱	41	0.59	0.93	605	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	434	6.20	1.07	6,143	2.66
感染性胃腸炎	700	10.00	1.05	18,419	7.98
水痘	41	0.59	1.52	683	0.30
手足口病	11	0.16	0.73	138	0.06
伝染性紅斑	12	0.17	1.20	320	0.14
突発性発しん	16	0.23	1.00	409	0.18
ヘルパンギーナ	2	0.03	2.00	33	0.01
流行性耳下腺炎	2	0.03	2.00	44	0.02
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	8	0.01
流行性角結膜炎	14	0.54	0.61	305	0.44
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	4	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	0.33	165	0.34
クラミジア肺炎	0	0.00	-	3	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	23	0.05